

授業科目:在宅看護特論★	講師名: 塚本 由利子 看護師 非常勤講師 ケアマネジャー 看護師 豊倉 睦美 看護師	2 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 地域保健・医療・福祉の活動体系と、その中で行われる在宅看護活動の対象および場を理解し看護の役割について考える。		
回数	講義内容	学習方法
1	注目の的@@在宅看護～在宅看護を取り巻く背景～	講義
2	発見！たからづか！①宝塚の地域や在宅生活者を支える機関調べ	GW
3	発見！たからづか！②宝塚の地域しらべ、機関調べ、まち探検プランニング	GW
4	発見！たからづか！③まち探検へLet's Go！	フィールドワーク
5	発見！たからづか！④学びの整理と発表準備、MAPづくり	GW
6	発見！たからづか！⑤学びの整理と発表準備、MAPづくり	GW
7	発見！たからづか！⑥発表	発表
8	『こんな夜更けにバナナかよ』に学ぶ①～療養者・家族の思いとQOL～	DVD視聴
9	『こんな夜更けにバナナかよ』に学ぶ②～意見交換～	GW
10	暮らしやすい家って、どんな家？①	GW
11	暮らしやすい家って、どんな家？②	GW
12	暮らしやすい家って、どんな家？③	発表・まとめ
13	地域包括支援センターの昨日とセンター内外の看護職に期待される役割 高齢者支援における地域住民、介護・福祉・医療機関等の連携の重要性	外部講師
14	介護保険制度の概要、具体的事例からケアマネジャーの役割を学ぶ。	外部講師
15	退院指導看護の実際	豊倉先生
【教科書】 系統看護学講座 統合 在宅看護論 医学書院		
【参考書】 よくわかる在宅看護 学研		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD、講義資料		
【評価方法】 筆記試験100点 平常点も考慮する(提出物期限、GWへの参加姿勢、発表内容他)		

授業科目：在宅看護援助論Ⅰ★		講師名：矢野 佳子 看護師 ：今西 順子 看護師 ：塚本 由利子 看護師	1 単位 15 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 療養者の生活で求められる在宅看護を展開するために必要な援助方法と技術を習得する。			
回数	講義内容		学習方法
1	在宅療養者の日常生活援助 在宅看護援助の基本 事例展開に向けての考え方		講義
2	在宅療養者の日常生活援助 具体的援助内容―住居 事例展開―住環境の調整		講義
3	在宅療養者の日常生活援助 具体的援助内容―面接技法 初回訪問 失語のコミュニケーション 事例展開		講義
4	在宅療養者の日常生活援助 具体的援助内容―食生活 脱水、嚥下困難の観察とケア 演習 とろみ剤 栄養補助食品		講義・演習
5	在宅療養者の日常生活援助 具体的援助内容―排泄 在宅療養者の日常生活援助 具体的援助内容―活動と休息 事例展開		講義
6	在宅療養者の日常生活援助 受診と服薬 連携のポイント 事例展開 清潔		講義
7	在宅看護の実際 リハビリ 事例展開		講義
【教科書】 系統看護学講座 統合 在宅看護論 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験			

授業科目:在宅看護援助論Ⅱ★		1 単位 30 時間 履修時期 2年生後期
【科目目標】 在宅看護に必要な看護の展開方法が理解できる。		
内容	在宅で療養する対象の看護	講師名:塚本 由利子 矢野 佳子・今西 順子 看護師
回数	講義内容	学習方法
1	看護過程 廃用症候の事例	講義
2		講義
3		講義
4		講義
5	在宅看護技術 褥瘡の予防とケア・尿道留置カテーテル・ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	講義
6	経管栄養・在宅中心静脈栄養法・疼痛緩和	講義
7	在宅酸素療法・在宅人工呼吸療法・非侵襲的陽圧換気療法	講義
8	演習	演習
9		
10	まとめ	講義
内容	難病の対象の看護	講師名:上垣 尚美 看護師
回数	講義内容	学習方法
1	難病患者A氏の在宅看護① A氏の紹介、神経難病って??	講義
2	難病患者A氏の在宅看護② 初期段階、リハビリテーションなど	講義
3	難病患者A氏の在宅看護③ 進行と共に起こる問題、自己決定など	講義
4	在宅ターミナルケア(末期がん)患者「在宅で過ごす」ということ	講義
5	在宅看護で大切なことって何だろう?	講義
【教科書】 系統看護学講座 統合 在宅看護論 医学書院		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD		
【評価方法】 筆記試験:在宅で療養する対象の看護(65点)+難病(35点)		

授業科目:医療安全・災害看護★		1 単位 30 時間 履修時期 2年生後期	
【科目目標】 医療現場で起こりうる危険性を理解し、対象および家族に安全な看護が提供できる方法を理解する。			
内容	医療安全	講師名:市村 理恵子 看護師・小林 睦 薬剤師	
回数	講義内容		学習方法
1	医療安全の基本的考え方		講義
2	危険(インシデント)の種類による医療安全対策		講義・演習
3	臨地実習における看護学生の医療安全対策		講義
4	KYT		講義・演習
5	インシデントレポート KYT		講義・演習
内容	感染予防	講師名:春藤 和代 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	感染法規 ワクチン接種による予防 病院で問題となる微生物		講義
2	標準予防策の概念と基本 手指衛生の基本		講義
3	個人防護具の着脱 洗浄・消毒・滅菌とは		講義・演習
4	感染性廃棄物の適正廃棄 針刺し、切創対策 感染防止技術(血流対策、尿路感染、術後感染)		講義
内容	災害看護	講師名:中田 徹朗 看護師 真辺 恵子 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	災害看護とは。災害の種類、震災関連死とは。避難所について。避難所の看護		講義
2	基本原則 CSCATTTの、CSCAの講義 当院のDMATの活動 石巻赤十字病院の東日本大震災の動画		講義
3	トリアージ 熊本地震の実際		講義
4	トリアージタグの書き方 治療 クラッシュ症候群		講義
5	国際看護 1. 国際看護とは 2. 国際貢献活動のいろいろ 3. 異文化看護の実際		講義(真辺)
6	広域搬送について 西豪雨災害派遣の実際 BLS演習		演習
【教科書】 看護の統合と実践 看護実践マネジメント医療安全 メディカルフレンド社 看護の統合と実践③ 災害看護 メディカ出版			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験：医療安全(30点)+感染予防(30点)+災害看護(40点)			

授業科目： 看護管理★	講師名：野田 洋子 看護師 村田 啓美 看護師	1 単位 15 時間 履修時期 3年生前期
【科目目標】 チーム医療および多職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップ・リーダーシップを理解し、看護をマネジメントできる基礎的能力を養う。		
回数	講義内容	学習方法
1	第1章 看護とマネジメント	講義 GW
2	第3章看護職のキャリアマネジメント	講義
3	第2章 看護のケアのマネジメント	講義
4	第4章 看護サービスのマネジメント	講義 GW
5	第5章 マネジメントに必要な知識と技術	講義 GW
6	第6章 看護を取り巻く制度	講義
7	退院支援・調整	講義 (地域医療室 看護師)
【教科書】 系統看護学講座 統合 看護の統合と実践① 看護管理 医学書院		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 PC,プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験、授業中のアウトプットの量と質		

授業科目：看護研究 ゼミナール ★		1 単位 30 時間 履修時期 3年生前期	
【科目目標】 主体的に看護を追及し深化させていく基礎的な知識と方法を学び、自己研鑽能力を養う。			
内容	看護研究	講師名：宮崎 悦子 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	看護研究とは		講義
2	文献について（活用方法、検索方法について、検索の実際）		講義
3	文献クリティークについて、研究計画書について		講義
4	研究計画書について		講義
5	研究論文を読み、実際にクリティークを行う。		講義
内容	看護学ゼミナール	講師名：堀内 吉美 看護師	
回数	講義内容		学習方法
1	1.看護ゼミナールの意義・目的		講義
2	2. ゼミナールの進め方 1)既習の学習と看護の学び 2)テーマ選定 3)看護の学びと文献 4)主要概念の理解		GW
3			
4			
5			
6			
7	各グループで最終の話し合い、発表準備		GW
8			
9	グループ発表		プレゼンテーション
10			
【単元の評価方法】 授業参加態度とプレゼンテーション、レポート評価 計50点			
【教科書】 看護における研究 南裕子 野嶋佐由美 医学書院. ペプロウ看護論—看護実践における対人関係理論 医学書院 人間対人間の看護 J.トラベルビー 医学書院 オレム看護理論 小野寺杜紀 医学書院 など			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 看護学ゼミナール(50点)＋筆記試験：看護研究(50点)			

授業科目: ケース・スタディ★		講師名: 塚本 由利子 看護師	1 単位 15 時間 履修時期 3年生前期
【科目目標】 1) 実践した看護から明らかにしたいことが明確にできる。 2) 論理的思考力、批判的思考力を磨く。 3) 倫理的配慮ができる。 4) 自己の看護観が表現できる。 5) 主体的に臨むことができる。			
回数	講義内容		学習方法
1	1. ケーススタディの目的・目標を理解する。 2. 1年間の進め方を理解する。 3. 選択領域を考える。		講義
2	1. 選択領域の決定 2. ケーススタディのまとめ方を理解する。		講義
3	1. 収録集清書原稿提出 2. 発表会に向けての進め方・役割を理解する。 3. 発表者の決定と、役割の決定		講義 GW
4	1. ケーススタディ抄録集のまとめ方を理解する。 2. ケーススタディ発表会に向けて、役割行動の確認		講義 GW
5 6 7	1. ケーススタディ発表会		プレゼンテーション
8	1. 発表会の振り返り 2. 看護観の提出		講義
【教科書】 看護における研究 南裕子 野嶋佐由美 医学書院.			
【参考書】 各自、参考文献を選択して使用			
【使用予定視聴覚機材】			
【評価方法】 レポート評価+発表会への取り組み			

授業科目:統合演習Ⅰ★		講師名: 宮崎 悦子 看護師	1 単位 15 時間 履修時期 3年生前期
【科目目標】 1. 対象理解に必要な学習に主体的に取り組む。 2. 知識を基に対象理解に必要な視点について考え、観察技術・測定技術に取り組む。 3. 対象の状況に応じて安全安楽な日常生活援助技術に取り組む。 4. 自己の課題を明確にする。			
回数	講義内容		学習方法
1	1 統合演習とは 2 統合演習内容・計画・評価について 3. 事前学習内容に関しての小テスト(30分)		講義
2・3	演習:コミュニケーション、観察、VSから対象を理解する		シミュレーション学習
4・5	援助計画に基づき技術演習(日常生活援助)		GW
6	援助計画に基づき技術演習(日常生活援助)		GW
7・8	技術試験		試験
【教科書】 指定せず 事例課題を基に、各自必要な教科書や参考書を用いて学習			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】			
【評価方法】 筆記試験(50点)+技術評価(50点)			

授業科目:統合演習Ⅱ		講師名: 加納 里美 看護師	1 単位 15 時間 履修時期 3年生後期
【科目目標】 複数の対象に対して、緊急・突発要件下で状況判断と対応ができる。			
回数	講義内容		学習方法
1	オリエンテーション		講義・GW
2	事例学習		GW
3			
8			講義
【教科書】 指定せず 事例課題を基に、各自必要な教科書や参考書を用いて学習			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】			
【評価方法】 筆記試験(24点)+技術試験(76点)			

授業科目：在宅看護論実習★		講師名：塚本 由利子 看護師	2 単位	90 時間	履修時期 3 年生
【実習目的】					
1 保健医療福祉活動の実態をとらえ、地域で生活する人々の健康上の問題と関連する諸問題を理解する。					
2 在宅看護の中で多職種との協働を学び、看護の果たす役割を認識し実践する能力を養う。					
実習目標		実習内容			
【地域包括ケアセンター実習 2日間】 1 施設の役割と機能を理解する。		1) 地域包括支援センターの沿革 2) 地域包括支援センターの活動状況 (1)介護予防 (2)総合相談・支援 (3)権利擁護 (4)包括的、継続的マネジメント 3) 構成メンバー			
2 対象の介護上の問題と支援の必要性を理解する。		1) 生活の実際 2) 面接場面の見学 ・相談内容の把握、面接技術など 3) 対象が抱える問題と支援の実際			
3 社会資源の導入と他機関との連携の実際を理解する。		1) 社会資源 2) 在宅療養支援に関わる機関の連携の実際			
【居宅介護支援事業者実習 2日間】 1 施設の役割と機能を理解する。		1) 居宅介護支援事業者の沿革 2) 居宅介護支援事業者の活動状況 3) 構成メンバー			
2 対象の生活背景を理解する。 3 対象の介護上の問題と支援の必要性を理解する。		1) 生活に視点をおいた情報収集の方法 (1)基本項目：性別、年齢、職歴、習慣など (2)家族：家族構成と本人の役割、介護キーパーソン (3)生活基盤：経済状況、社会資源活用の有無 (4)病歴：既往歴、現病歴、受療状況、治療・看護内容 (5)日常生活の場：家屋の立地条件、生活の利便性、構造・設備 2)面接場面の見学 ・相談内容の把握、面接技術など			
4 介護支援専門員が他機関、他職種とどのように連携をはかり、社会資源の活用に結び付けているかを知る。		1) 資源の導入過程 2) 在宅支援に関わる機関の連携の実際			
【訪問看護ステーション実習 4日間】 1 訪問看護ステーション及び訪問看護師が担う機能と役割を理解する。		1)訪問看護ステーションの沿革 2)訪問看護ステーションの活動状況 3)構成メンバー			
2 在宅療養中の対象が望む生活を支えるために、必要な看護の視点を身につける。 1)対象と対象を取り巻く環境について情報収集する。 2)アセスメントにより、療養上の問題を抽出する。 3)看護計画を立案する。 4)必要な援助を指導者の指導のもと、可能な範囲で実施する。 5)実施した看護を評価することができる。		1) 情報収集 (1)対象の障碍の程度、健康レベル、治療方針、生活歴、嗜好、信条など (2)家族構成、家族の役割、キーパーソンなど (3)生活基盤、社会資源の活用の有無 (4)療養環境(家屋の構造、設備など) (5)介護状況など 2) 問題把握 (1)身体的な問題 (2)精神的な問題 (3)社会的な問題 (4)家族の健康上の問題 (5)家族の役割変化に関する問題 3)対象の意向を取り入れた看護目標・解決目標の設定 (1)看護目標・解決目標の設定 (2)援助計画の立案 (3)援助の実施 ①日常生活援助 ・食事 排泄 活動 休息 清潔 衣生活 環境 ②医療処置に関する援助 ・バイタルサイン測定 褥瘡処置 経管栄養 留置カテーテル 人工肛門 気管切開など ③家族への援助 4) 他機関との連携と関わり 5)実施した援助の評価			

実習目標		実習内容	
3 療養者を支える関係職種との連携・社会資源の活用の実際を理解する。		1)対象に導入されている社会資源の把握 (1)人的援助:ヘルパー派遣、ボランティア活動、各専門職の訪問など (2)物的援助:日常生活用具の給付など (3)各制度の利用状況:介護保険、身体障害者福祉法、自立支援法等 2) 他機関との連携 (1)医療機関:病院・開業医など (2)その他:居宅介護支援事業者・デイサービスセンター・デイケアセンターなど	
4 対象及び在宅ケアチーム員と良好な関係を築く。		1) 対象・介護者の介護方針の受容する姿勢 2) 相手を尊重したコミュニケーション 3) 訪問時のマナー 4) 在宅ケアチームの一員としての協力的な態度	
【地域医療室実習 2日間】			
1 地域医療室の役割と機能を理解する。		1)地域医療室の沿革 2)地域医療室の活動状況 3)構成メンバー	
2 退院支援に関わる専門職の視点、援助の実際を知る。		1)病棟カンファレンス 2)面接場面の見学 ・相談内容の把握、面接技術など 3)対象が抱える問題と支援の実際	
3 どのような職種と、どのように連携し、患者を支援しているかを理解する		1)支援に関わる機関の連携の実際	
【健康センター実習 2日間】			
1 地域住民の健康管理、保健対策がどのように行われているか理解する。 2 地域における個人、家族及び集団の健康問題を認識し、援助の必要性を理解する。 3 地域住民の健康問題解決に向けて、関連機関との連携、社会資源の活用方法とその必要性を理解する。			
領域	老人保健		母子保健
内容	1. 成人・老年期における疾病予防・慢性疾患の健康管理 2. 住民の利用状況と抱える問題 3. 地域内の成人・老年期の生活実態と健康意識 またその援助方法		1. 妊産婦の保健指導 2. 父親となるための準備教育 3. 地域で生活する乳幼児の健康管理 4. 家庭状況・家庭問題の実情に応じた育児指導 5. 母親の育児に対するニーズと発達段階に応じた保健指導
事業	健康相談, 健康診査, 健康教室など(健康センターだより参照)		
事前学習	実習オリエンテーションで説明		
授業計画	実習機関:3年生の12日間 実習時間: 8:30～17:00(1時間休憩) 7.5時間／日		
【評価方法】 評価表に基づき評価する。			

授業科目： 統合実習★		講師名： 全教員 看護師	2 単位	90 時間 履修時期 3年生後期
【実習目的】 チーム医療および他職種との協働のなかで、看護師の役割を理解し、看護の対象その家族に対して既習の知識や技術を統合し、看護実践能力を養う。				
実習目標		実習内容		
1.看護管理の実際について学び、保健医療福祉チームにおける看護の役割と機能を理解する。		1)看護管理の視点を持ち、看護師長からの話を聞く。 (1)病院組織における看護管理について ・看護組織としての機能 ・看護理念、看護方式(固定チームナーシング・PNS) (2)病棟管理者の役割と業務について ・病棟目標管理 ・病床管理 ・危機管理 ・スタッフ・看護学生の教育指導 ・他部門との連絡調整 ・職員の配置 ・勤務時間管理の実際 ・職員の健康管理 2)リーダーおよびメンバーの役割を理解することができる。 (1)リーダーおよびメンバーの役割と業務の実際 (2)医師への報告、連絡調整 (3)看護チーム内の連絡調整 (4)病院内外の部門との連絡調整		
2. 優先順位と時間管理を考慮し、複数の対象の看護を実践する。		1)2名の対象者を受け持ち、必要な情報を収集し、優先順位を考慮した行動計画を立案する。 2)優先順位の変更が生じた場合、適宜報告・連絡・相談して、行動計画の再調整を行う。 3)対象者の情報収集と並行して援助を実践する。 (1)病棟の看護計画に沿ってその日優先順位の高い援助の実践 (2)患者の状態変化や治療方針の変更を確認 (3)援助実施の良否・優先度の判断 4)関連図を用いて、対象者の全体像を把握する。 5)複数の対象者に対し、安全・倫理的配慮に基づいた看護を実践する。 (リスクマネジメントの方法・安全な薬剤の管理・感染防止・転倒転落予防・褥瘡予防など各種ガイドラインの視点をもつ)		
3. 習得すべき技術項目が、卒業時の到達レベルに到達することを旨とする。		1)到達レベルに達していない技術項目が経験でき、かつレベルに到達するよう主体的に行動する。 2)看護技術を対象者の状態にあわせて、指導のもと適切に援助する。		
4. 夜間実習を通し、対象の理解を深めるとともに看護の実際を学ぶ。		1)夜間の看護師の役割と業務内容について理解する。 2)夜間の対象者の状況を理解する。 3)夜間の患者の安全確保の実際 4)夜間の病棟管理体制の理解		
5. 看護専門職者としての責務を果たすための役割や課題を明確にする。		1) 保健医療福祉チームにおいて他職種と協働し、生活者の視点で捉えた対象の情報提供や共有を行う必要性を理解する。 2)看護職者として責務を果たすための課題と取り組みを明らかにする。		
事前学習		実習オリエンテーションで説明		
授業計画		実習機関：3年生後期の12日間 実習時間： 8:30～17:00(1時間休憩) 7.5時間／日		
【評価方法】 評価表に基づき評価する。				